

ALES DYNAMIC TOP

遮熱

水性反応硬化形ハルスハイリッチシリコン樹脂系外壁用高日射反射率塗料

アレスダイナミックTOP遮熱

外壁も、太陽から降り注ぐ 「赤外線」と「紫外線」対策が重要

太陽光に含まれる「赤外線」と「紫外線」。

外壁も屋根と同様に「赤外線」による熱の発生で室内温度が上昇すると共に、塗膜自体の温度が上昇するため劣化要因の一つである熱劣化にもつながります。さらに「紫外線」を受けることで塗膜や素材は劣化し、建物や住環境に大きな影響を与えます。



「赤外線」と「紫外線」から外壁を護る

アレスダイナミックTOP遮熱は「赤外線」と「紫外線」をコントロールする

『ダイナミックIRブロック技術』『ラジカル制御技術』を導入。

真夏の外壁表面の温度上昇を抑えて住環境を快適にするとともに、

塗膜の劣化を抑制し外壁を長期保護します。

ALES DYNAMIC TOP

遮熱

『ダイナミックIRブロック技術』

遮熱効果で外壁表面の温度上昇を抑制

赤外線を反射させる特殊顔料を配合。さらに赤外線反射機能が優れる下塗との組合せで、上塗部分を透過した一部の赤外線も反射する『ダイナミックIRブロック技術』により、外壁の表面温度の上昇を抑制します。

『ラジカル制御技術』

4つの技術で塗膜の劣化を抑制

塗料の主成分のひとつ「酸化チタン」に紫外線が当ることにより発生する物質「ラジカル」は、塗膜を破壊し劣化を促進させます。この塗膜劣化の原因物質の発生を抑えることで、塗膜の耐候性を飛躍的に向上させます。

アレスダイナミックTOP 遮熱の特長



TOP 遮熱 『ダイナミックIRブロック技術』で遮熱効果を発揮

TOP 超低汚染 超低汚染で遮熱効果の低下を抑制

TOP 艶の選択が可能
[つや有り、5分つや、3分つや]

TOP 『ラジカル制御技術』の採用による最上位品フッソに迫る高耐候性

TOP 臭気の少ない水性塗料

TOP カビ、藻が付着しにくい

『ダイナミックIRブロック技術』で暑さ対策に貢献

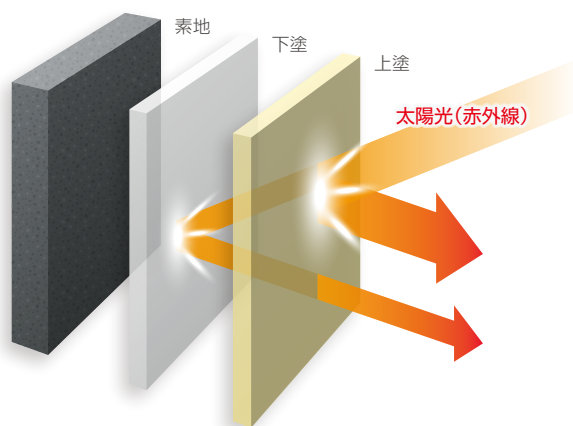
太陽光の中でも熱に変換されやすいのが「赤外線」。

「赤外線」が外壁に当たると熱の発生で表面温度が上昇し、それによって建物内も暑くなります。

アレスダイナミックTOP遮熱は『ダイナミックIRブロック技術』により赤外線を反射し、建物内の温度上昇を緩和すると共に、素材や塗膜自体の温度上昇による熱劣化を抑制します。

ダイナミックIRブロック技術

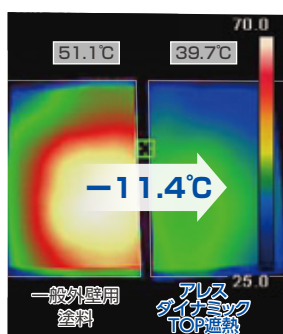
赤外線反射特殊顔料配合の上塗と赤外線反射機能が優れる下塗とのシステム。
上塗部分を透過した一部の赤外線も、下塗で反射する『ダイナミックIRブロック技術』により、
外壁の表面温度の上昇を抑制します。



遮熱性能の効果

一般外壁用塗料と「アレスダイナミックTOP遮熱」の塗板にハロゲンランプを照射して遮熱性能の効果を確認しました。(塗色: KP-75R)

11.4℃の表面温度低減効果を確認



超低汚染で汚れにくい

独自の緻密・強靭塗膜形成技術による低汚染機能が建物の美観を維持します。また汚れによる遮熱効果の低下を抑制し、性能の長期維持を図ります。

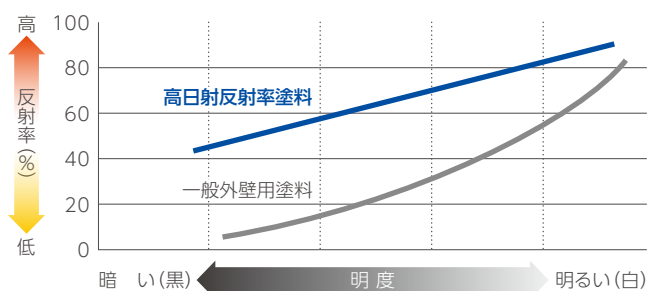
耐汚染性の比較



大切なのは色と熱の関係

アレスダイナミックTOP遮熱は、特殊顔料を使用しているのでどの色でも、同じ色同士を比較すれば一般の塗料より効率よく赤外線を反射します。色によって日射反射率は違いがあり、暗く濃い色ほど反射率は低くなり、明るく薄い色ほど日射反射率は高くなります。遮熱効果の高さがひと目で分かるように独自のCOOLレベルを表示しています。外壁の色選びにお役立てください。

塗膜の明度と日射反射率の関係

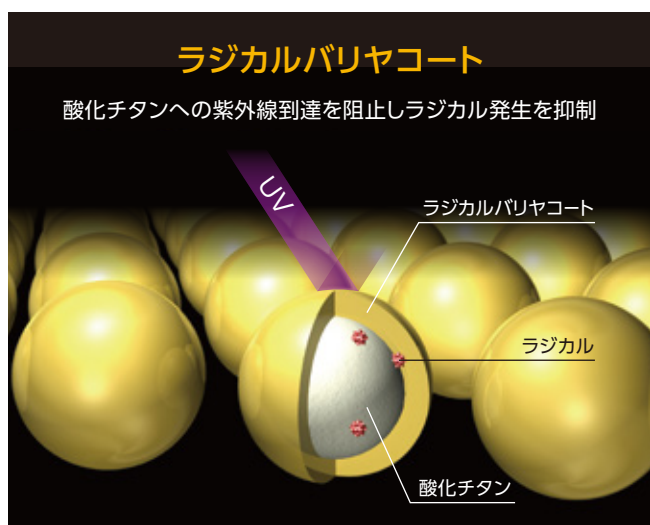
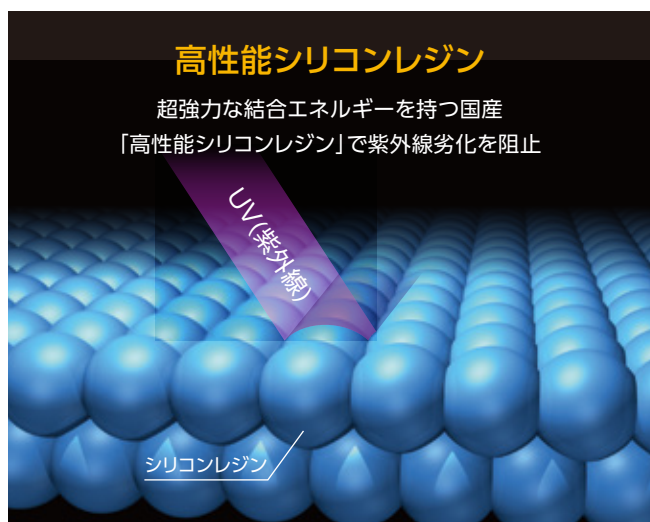


紫外線から素材を護る『ラジカル制御技術』

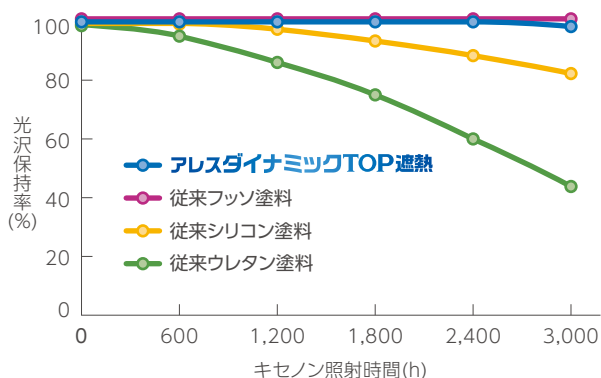
塗料の主成分のひとつ「酸化チタン」に紫外線が当ることにより発生する物質「ラジカル」は、塗膜を破壊し劣化を促進させます。

「ラジカル制御技術」は4つの技術で、この塗膜劣化の原因物質の「ラジカル」の発生を抑えることで、塗膜の耐候性を飛躍的に向上させます。

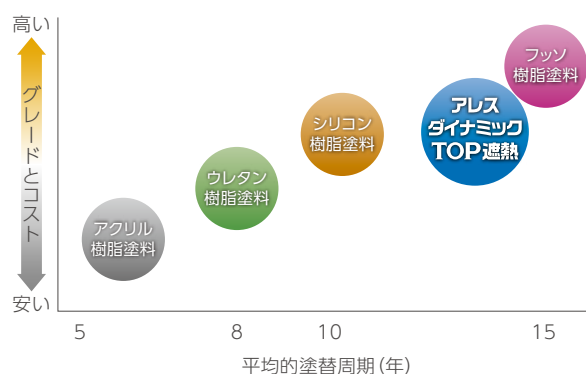
動画で
チェック

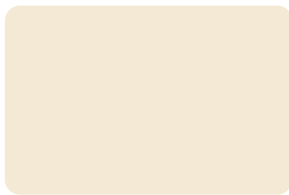


促進耐候性試験結果

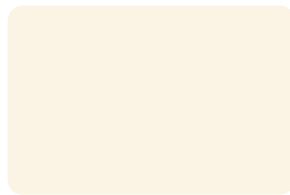


塗料のグレード

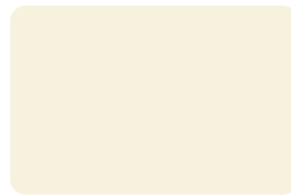




KP-111R ① ② ③ ④ ⑤



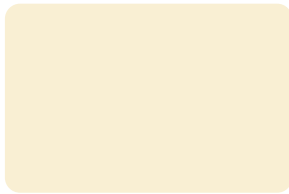
KP-110R ① ② ③ ④ ⑤



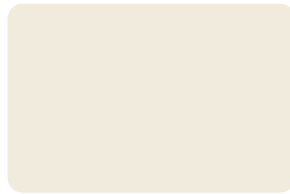
KP-112R ① ② ③ ④ ⑤



KP-223R ① ② ③ ④ ⑤



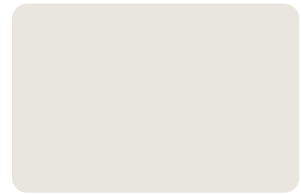
KP-310R ① ② ③ ④ ⑤



KP-121R ① ② ③ ④ ⑤



KP-133R ① ② ③ ④ ⑤



KP-221R ① ② ③ ④ ⑤



KP-120R ① ② ③ ④ ⑤



KP-127R ① ② ③ ④ ⑤



KP-80R ① ② ③ ④



KP-337R ① ② ③ ④ ⑤



KP-336R ① ② ③ ④ ⑤



KP-330R ① ② ③ ④



KP-147R ① ② ③ ④



KP-350R ① ② ③ ④



KP-75R ① ② ③ ④



KP-347R ① ② ③ ④



KP-70R ① ② ③ ④



KP-356R ① ② ③ ④



KP-357R ① ② ③ ④



KP-368R ① ② ③



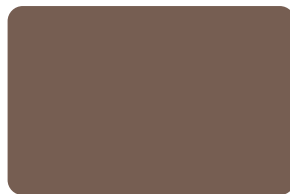
KP-50R ① ②



KP-367R ① ② ③



KP-167R ① ② ③



KP-376R ① ②



KP-379R ① ②



KP-170R ① ②

COOLレベル

日射反射率*

① ② ③ ④ ⑤ …80%以上 ① ② ③ ④ …70~80% ① ② ③ …60~70% ① ② …50~60% ① …50%未満

*一般外壁塗料との日射反射率の比較は、「塗膜の明度と日射反射率の関係」のグラフをご参照ください。※この見本は印刷のため、実際の色とは異なります。色合わせの目的には使用できません。※反射率数値は「JIS K 5602 塗膜の日射反射率の求め方」に準拠し「アレスダイナミックシーラーアクア白」で日射反射率(近赤外領域)を実測しています。※日射反射率は下地の状態や塗装仕様、施工条件などにより多少の増減が生じます。

上塗

アレスダイナミックTOP遮熱

荷姿：15kg、4kg

艶：つや有り、5分つや、3分つや

下塗

アレスダイナミックシーラーアクア白

【15kgセット】ベース12.5kg、硬化剤2.5kg（ベース：硬化剤=5：1）

※可使時間は4時間以内です。

アレスダイナミックTOP遮熱 標準塗装仕様

適用下地 業系サイディングボード・コンクリート・モルタル・ALC・各種旧塗膜

工程	塗料名・処置	荷姿	塗装方法	標準所要量 (kg/m ² /回)	希釈率 (重量%)	塗り重ね乾燥時間 (23℃)
素地調整	劣化した旧塗膜をディスクサンダー・スクレーパー・皮スキ・ワイヤーブラシを用いて除去する。エフロ・レイトランス・ゴミ・汚れなどは、ワイヤーブラシ・サンドペーパー・ウエスを使用して除去する。モルタルの場合、浮き・クラックなどは適切な処置を行う。業系サイディングボードの場合、欠損、シーリング材の劣化部などは適切な処置を行う。					
下塗	アレスダイナミックシーラーアクア白 上水	ベース：12.5kg 硬化剤：2.5kg	ハケ・ローラー	0.13～0.20	0～15	4時間以上7日以内
上塗1回目	アレスダイナミックTOP遮熱 上水	15kg 4kg	ハケ・ローラー	0.12～0.14	3～8	2時間以上7日以内
上塗2回目	アレスダイナミックTOP遮熱 上水	15kg 4kg	ハケ・ローラー	0.12～0.14	3～8	—

※標準所要量は、被塗物の形状や下地の状態、塗装方法、環境などによって増減することがあります。

施工上の注意事項

- 素地のアルカリ度はpH10以下、表面含水率10%以下(ケツ科学社製CH-2)、または表面含水率5%以下(ケツ科学社製Hi500シリーズ・コンクリートレンジ)の条件で塗装してください。
- 塗替えの場合、旧塗膜の劣化が著しいときは、サンダー・ワイヤーブラシなどで脆弱な塗膜を除去し、高圧水洗を行い1日乾燥後、塗装をしてください。
- 気温5℃以下、湿度80%以上、また、降雨、降雪、強風が予想される場合は、塗装を中止してください。
- 気温0℃以下、40℃以上での塗料の保管は避けてください。
- 本品は屋根への適用はできません。
- 旧塗膜がスタッコのような場合は、各工程の塗料を充分に塗り込んでください。
- 下地補修部へ対しては、必ずシーラー塗装を行ってください。
- 脆弱な下地などには浸透形Mシーラーを使用してください。
- シーラーの吸い込みが著しい場合には、再度シーラーを増し塗りしてください。
- 軽量モルタル、ALCパネル、高断熱型業系サイディングおよび発泡ウレタンなどを使用した断熱工法などの「高断熱型外壁」を塗り替える際、旧塗膜が溶剤系アクリルトップである場合は蓄熱や水の影響、塗装後の環境などいくつかの条件が重なることで、塗膜のふくれが生じることがあります。旧塗膜をラッカーシンナー拭きして簡単に塗膜が再溶解する場合は、下塗に「マルチタイルコンクリートプライマー-EPO」を塗装してください。
- 開缶後、放置する場合には皮が張らないようポリエチレンシートなどを用いて、密閉してください。
- 乾燥すると養生テープを剥がしにくくなりますので、塗膜が乾燥する前に養生テープを剥がしてください。乾燥後に養生テープを剥がす場合にはカッターなどでカットした後に、テープを取り外してください。

- 汚れ、傷などにより補修塗りが必要な場合がありますので、使用塗料の控えは必ずとっておき、同一塗料、同一ロット、同一塗装方法で補修塗装をしてください。
- ハケ塗りやローラー塗りとの仕上り肌や希釈率の違いによる色相差が生じることがありますのでご注意ください。
- 過希釈は隠ぺい力不足、仕上がりが不良などが起こるため規程範囲を超えて希釈しないでください。
- 「アレスダイナミックシーラーアクア」、「マルチタイルコンクリートプライマー-EPO」はベースと硬化剤がセットになっている2液形塗料です。ベース、硬化剤は正確に計量し、電動攪拌機を用いて、よくかき混ぜてから使用してください。また、ベース/硬化剤を混合後4時間以内で使用してください。夏場の場合は2時間程度で使用できなくなります。
- サイディングボードに既に反り、欠落、変形が発生している場合には、サイディングボードを取り替える必要があります。
- シーリング材とサイディングボードとの接合面に、割れが、ウキが認められる場合には、シーリング材を打ち直してください。
- 「シーリング面への塗装は極力避けてください。汚染や粘着、ワレの原因となります。やむをえず塗装する場合には、ノンブリードタイプのシーリング材を用いることとし、「シーブラ」または「マルチタイルコンクリートプライマー-EPO」をバインダーとして挟むことで不具合を軽減することができます。
- ラベルやSDSに記載されている注意事項を守ってください。
- 詳細な内容については安全データシート(SDS)をご参照ください。

ご使用上の注意事項

下記の注意事項を守ってください。詳細な内容については安全データシート(SDS)をご参照ください。

- 取り扱い作業中・乾燥中ともに換気の良い場所で使用し、粉じん・ヒューム・ガス・ミスト・蒸気・スプレーを吸入しないこと。必要な保護具(帽子・保護メガネ・マスク・手袋等)を着用し、身体に付着しないようにすること。
- 吸入に関する危険有害性情報の表示がある場合、有機ガス用防毒マスク、又は、送気マスクを着用すること。又、取り扱い作業場所には局所排気装置を設けること。
- 皮膚接触に関する危険有害性情報の表示がある場合、頭巾・ネリ巻きタオル・長袖の作業着・前掛を着用すること。
- 本来の目的以外に使用しないこと。
- 指定材料以外のものとは混合(多液品の混合・希釈等)しないこと。
- 缶の取っ手を持って振ったり、取っ手をロープやフックで吊り下げたりしないこと。
- 取り扱い後は、洗顔、手洗い、うがい、及び、鼻孔洗浄を十分行うこと。
- 使用済みの容器は、火気、溶接、加熱を避けること。
- 本品の付いた布類や本品のかす等は水に浸して処分すること。
- 目に入った場合：直ちに、多量の水で洗うとともに医師の診察を受けること。
- 皮膚に付着した場合：直ちに拭き取り、石けん水で洗い落とし、痛みや外傷等がある場合は、医師の診察を受けること。

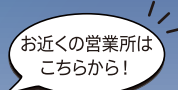
- を吸うこと。
- 吸入した場合：空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けること。
- 飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること。無理に吐かせないこと。
- 漏出時や飛散した場合は、砂、布類(ウエス)等で吸い取り、拭き取ること。
- 火災時には、炭酸ガス、泡、又は、粉末消火器を用いること。
- 指定容器を使用し、完全にふたをして湿気のない場所に保管すること。直射日光、雨ざらしを避け、貯蔵条件に基づき保管すること。子供の手の届かない場所に保管すること。又、関連法規に基づき適正に管理すること。
- 本品の付いた布類や本品のかす、及び、使用済み容器を廃棄するときは、関連法規を厳守の上、産業廃棄物として処分すること。(排水路、河川、下水、及び、土壌等の環境を汚染する場所へ廃棄しないこと。)
- 本製品は揮発性の化学物質を含んでいますので、塗装直後の引渡しの場合は、施主様に対して安全性に十分に注意を払うように指導してください。例えば、不特定多数の方が利用される施設などの場合は、立看板などでベンキ塗り立てである旨を表示し、化学物質過敏症ならびにアレルギー体質の方が接することのないようにしてください。



MADE IN JAPAN

関西ペイント販売株式会社

📱 関西ペイントホームページ
www.kansai.co.jp



お近くの営業所は
こちらから！

各種カタログご覧になれます。

※本カタログの内容については、予告なく変更することがありますのであらかじめご諒承ください。

(24年03月01刷PKO) カタログNo.962